

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら足利小保町教室

保護者等数(児童数) 13人 回収数 11 割合 84 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	3	2	件		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	5	2	件	子供に寄り添ってくれる職員さんたちだと思います。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	4	2	件		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	3	件	件		自身から意欲的に参加できるように工夫をしています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4	6	件	件		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	7	件	件		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	8	件	件		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	5	1	件		今後も色々な工夫を取り入れていきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	件	件	件		
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	4	件	件		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10	1	件	件		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	2	件	件		相談等ございましたら、いつでもご連絡くださいと手紙で出している。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	4	件	件	連絡帳に書いてくれます。	連絡帳に記載しきれない事等は、お電話にてお伝えしております。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	1	件	件	いつもありがとうございます。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	1	件	件	あると、ありがたいです。	検討し実施していきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	件	件	件	いつも相談に乗ってもらい、ありがとうございます。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	2	件	件		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	1	件	件		幅広く周知してできるよう検討いたします。
非常時 等の 対応	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6	4	件	件		改善していきます。
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	2	1	件		マニュアルに沿って訓練ができるように改善していきます。
満足 度	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	件	件	件		
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	4	6	件	件		
	23	事業所の支援に満足しているか	7	4	件	件	毎日楽しそうにお迎えを待っています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら足利小侯町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	件		
	2 職員の配置数は適切であるか	3	件		利用児童の人数を確認しながら、適切な支援を提供していく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	件		必要な場合は検討していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	件	プログラム等、必要以外のものは児童の目に触れないように努めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	件		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	件		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	件		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	件	3		今後検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	件		
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	件	日々の様子を共有しながら計画の作成に努めている。	継続して、カンファレンスやミーティングを行い、計画の作成をしていく。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	件	3		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	件	2		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	件		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	件	毎月職員間で意見を出し合うようにしている。	意見を出す職員が固定化されないよう、職員一人ひとりの取り組み意識の向上をより図っていきたい。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	件		今後も、職員にアイデアを募集しながら、楽しんで成長に結びつくプログラムを考えていく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	件	課題について個別、集団それぞれの観点で解決できるよう支援計画の作成に努めている。	継続して、日々の児童の様子を共有し、課題を見つけ支援計画を作成していく。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	件		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	件		
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	件			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	件	定期的なモニタリング等を通じて課題の達成状況を確認している。	継続して課題の達成状況を確認していく。	
関係機関や保	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	件		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	件		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	件	件		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	件	件		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	件	必要に応じて相互の見学や担当職員との話し合いの場を設けている。	今後も必要に応じて、見学や話し合いの場を設けていく。

護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	件	必要に応じて相互の見学や担当職員との話し合いの場を設けている。	今後も必要に応じて、見学や話し合いの場を設けていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	件	3		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	件	3		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加している	3	件		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	件	送迎時や連絡帳にて情報共有を行っている。	継続して、送迎時や連絡帳、電話、面談等を通じて保護者と情報共有を密に行っていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	件	3		必要に応じ保護者への助言をしていく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	件		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	件		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1		継続して行う。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	件	3		保護者からの要望あり、今後検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	2	1		
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	件	3		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3	件		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	件	丁寧で簡潔な言葉遣い、必要に応じて絵カードの使用などを行っている。	今後も成長を見ながら児童や保護者に対し、情報伝達のために必要なことを考えて実践していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	件	3		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	件	3		
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	件	3		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	3	件		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	件		保護者確認を徹底する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	件	会議、ミーティング時にて共有に努めている。	今後も作成し共有していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	件		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	件	3		